令和6年度2月分

健康・福祉関係

件名	保育園にかかる多子世帯への軽減措置について
内容	<p>以前、白井市の保育課より出された書面の中に、「多子世帯への保育料軽減措置については、県や他市の動向を注視する」との一文が記載されておりました。</p> <p>近隣の船橋市では、令和6年9月より第一子の年齢に関わらず3人目以降は保育料無料とするとの改定がなされています。</p> <p>白井市も、船橋市と同じように改定する予定はあるのでしょうか。少子化が加速度的に進む昨今、多子世帯は稀有な存在になりつつありますが物価高の影響もかなり感じております。早急に上記改定がなされるべきだと思っておりますが、どのようにお考えでしょうか。</p>
回答	<p>本市では、国の基準に従い保育所保育料の多子軽減措置を実施しているところですが、他市において、独自に多子軽減措置を行っている自治体が増えていることは承知しております。</p> <p>少子化対策という点において、多子世帯に対する経済的負担の軽減措置は、効果的な手段のひとつであると認識しておりますが、実施には多額の財政負担が生じることも事実です。</p> <p>市政の運営にあたり、様々な御要望を頂く中で、限りある資源の中、如何に市民の皆様には有益な事業を展開していくかが問われているところですが、市では現在、雇用や地域経済の循環を生み、さらには税収増加の効果も見込める企業誘致活動を積極的に進めているところです。</p> <p>こうした取り組みを通じて市の財政を豊かにしていくことで、様々な施策の推進に努めてまいりますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>(関係課：保育課)</p>